

衛生委員会だより 2026年1月

～肝臓がんについて～



増えているのは脂肪肝が原因の【肝臓がん】・・・生活習慣病です

肝臓は

- 1, 栄養素を代謝して体に必要な成分に変換する
 - 2, アルコールなどの不要物を分解・解毒する
 - 3, 脂肪の消化を助ける胆汁をつくる
 - 4, ブドウ糖を体内に貯留する
- など、人体にとって重要な多くの働きを担っています。

脂肪肝は多量の飲酒や糖質・脂質の摂りすぎで起こる生活習慣病ですが、

お酒を飲まない人や肥満がない人でも起こる場合があるために注意が必要です。

■肝臓がん、早期発見のために

肝臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれ、症状が現れにくい臓器と言われており、早期発見に重要なのが健康診断の血液検査でふつうに検査するALTという項目の値です。

ALTの値は肝臓な細胞が破壊されると血液中に放出される「逸脱酵素」と呼ばれるAST、ALT、 γ GTPのうちの一つです。日本肝臓学会では、ALTの値が30を超えた場合には、医療機関を受診することを推奨しています。